

平成26年度 文部科学省モデル事業
「いのちの授業」報告書



平成27年2月25日

NPO 法人がんサポートかごしま

モデル事業・実施内容概要

【鹿児島市】

南小学校

所在地：〒890-0068 鹿児島市東郡元町13-22

TEL：099-253-5304 FAX：099-253-5389

■生徒に対する「いのちの授業」

実施日時：平成26年10月29日（水）9：40～

実施学級：6年1組、2組、3組（87名）クラスごとに実施

実施担当者：三好 綾（NPO 法人がんサポートかごしま理事長・乳がん患者）



■保護者に対する「がん教育とは」の講話

実施日時：平成27年2月10日（火）10：00～11：00

実施場所：南小学校校区公民館

実施担当者：三好 綾（NPO 法人がんサポートかごしま理事長）



伊敷中学校

所在地：〒890-0005 鹿児島市伊敷1-11-1

TEL：099-226-0522 FAX:099-226-0523

■生徒に対する「いのちの授業」

実施日時：平成27年2月13日（金）14：10～

実施学級：2年1組、2組、3組、4組、5組、6組（220名）

実施担当者：

1組・4組 野田 真記子（NPO 法人がんサポートかごしま副理事長・乳がん患者）

2組・5組 三好 綾（NPO 法人がんサポートかごしま理事長・乳がん患者）

3組・6組 堂蘭 いずみ（NPO 法人がんサポートかごしま事務局・乳がん患者）



■保護者に対する「がん教育とは」の講話

実施日時：平成27年2月5日（木）15:10～16:10

実施場所：伊敷中学校 会議室

実施担当者：三好 綾（NPO 法人がんサポートかごしま理事長）



【薩摩川内市】

隈之城小学校

所在地：〒895-0041 薩摩川内市隈之城町1392-1

TEL：0996-23-2604 FAX：0996-22-0581

■生徒に対する「いのちの授業」

実施日時：平成27年1月30日（金）14:15～

実施学級：6年1組、2組、3組（116名）

実施担当者：

1組：三好 綾（NPO 法人がんサポートかごしま理事長・乳がん患者）

2組：野田 真記子（NPO 法人がんサポートかごしま副理事長・乳がん患者）

3組：園田 順子（NPO 法人がんサポートかごしま運営委員・乳がん患者）



川内南中学校

所在地：〒895-0012 薩摩川内市平佐町985

TEL：0996-23-4602 FAX：0996-22-0582

■生徒に対する「いのちの授業」

実施日時：平成27年2月6日（金）13:55～14:45

実施学級：2年2組、5組、3年2組（2年生69名、3年生37名）

実施担当者：

2年2組 野田 真記子（NPO 法人がんサポートかごしま副理事長・乳がん患者）

2年5組 堂菌 いずみ（NPO 法人がんサポートかごしま事務局・乳がん患者）

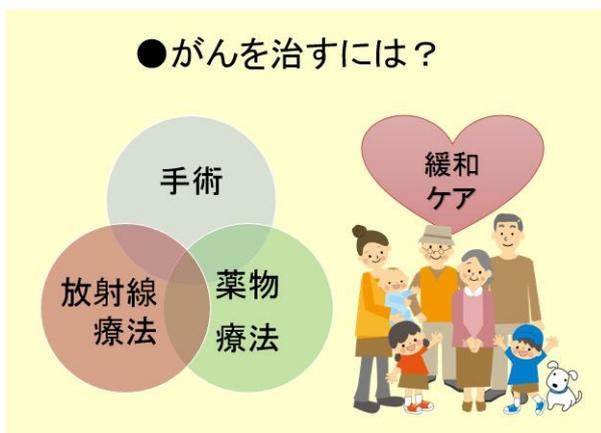
3年2組 三好 綾（NPO 法人がんサポートかごしま理事長・乳がん患者）



■職員研修

実施日時：平成27年1月19日（月）15:50～16:45

実施内容：川内南中学校・視聴覚室



いのちの授業で伝えたいこと

- ①がんの知識の向上
- ②がん患者への理解を促進すること
- ③身内を亡くしている子どもたちへのケア
- ④命の大切さ、周りへの感謝を伝えること
- ⑤親や教師への啓発

■実施人数一覧

○鹿児島市

- ・南小学校 87名
 - ・伊敷中学校 220名
- 鹿児島市 合計：307名

○薩摩川内市

- ・隈之城小学校 116名
 - ・川内南中学校 106名
- 薩摩川内市合計：222名 合計：529名

■実施の流れ

1) 授業の2週間前に、担任教諭と打ち合わせ

- ・授業担当者顔合わせ ・学級人数確認
- ・事前の注意点を確認（小児がん既往歴の生徒や、家族にがん経験者、闘病中、亡くしている生徒がいた場合の配慮など）
- ・保護者の皆さんへ見学のお願いと、配慮が必要な場合には連絡をもらえるよう週報などでの連絡を依頼 ・事前、事後のお願い（アンケート実施や、席図表、感想文等）

【教諭への配布物】

「がんのことをもっと知ろう」冊子、「がんのことをもっと知ろう～指導書～」



※「がんの教育・普及啓発に関する合同研究班」制作の冊子を許可を頂いて配布させて頂いています。「がんの教育・普及啓発」ホームページより

2) 事前アンケート実施

がんの知識を教える前に実施をお願いします。

3) 学校教諭から「がんの知識」を伝える

冊子を利用して、子どもたちに担任から教えてもらう。朝の学活や、授業の中で基本的ながんの知識について学んでもらう。
※南小学校は、いのちの授業前の1コマ目で担任、養護教諭、保健主任で授業を実施。※伊敷中学校は、2コマ目に担任等から授業を実施。

いのちの授業の流れ



4) 事前質問をもらう

子どもたちに自由に質問を書いてもらい、授業の1週間前にもらう。

5) 授業（別紙指導案参照）

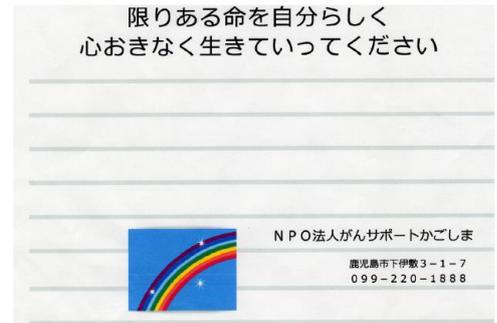
6) 感想文を書いてもらう

学校教諭にテンプレートは準備をお願いし、感想文を書いてもらう

7) 事後アンケートの実施

授業後10日前後を目途に事後アンケートを実施

8) 感想文の返事としてお手紙を一人一人に担当者から返す



■事前質問の内容（抜粋）

【隈之城小学校】

- どのくらいの年齢でがんになった？
- がんの種類、実際の治療法
- たばこをいっぱい吸っていた？
- お酒のんだ？運動不足だった？
- がんの症状はどんなの？
- 痛さはいつもありますか？
- 治ると思っていましたか？
- おじいちゃんが、がんで「死にそう」みたいな感じが何回かしたようだった。そうでしたか？
- 実際に体験して大変だった？心配だった？
- 手術をしないといけないのか？
- がんは薬を飲むと少しでも気分はよくなりますか？
- 早く見つけたらどれくらいで退院できるのか？
- がんになったら、髪の毛が抜ける？
- がん保険には入っていましたか？
- 誰かに相談しましたか？
- 周りの人にがんのことを伝えたらどんな反応をしますか？
- がんの種類はなんですか？
- 何が一番がんになった原因だと思いますか？
- どうしてがんになった？
- お酒とたばこをどのくらい飲んだんですか？
- がんになったとき、体は痛みを感じるのか？
- がんはどのくらい、きついんですか？
- がんはとてもこわい病気ですか？
- がんになったとき、どんな気持ち？
- 治療は何日くらいかかりましたか？
- 何ができて、何ができない？
- 入院したときは、どんな過ごし方だった？
- 費用はどのくらいかかった？
- がんのときの食事はがんでない人と同じ？
- 自分の体験から他の人にはどうしてほしい？

【川内南中学校】

- 副作用で髪の毛は抜けてしまうのか
- これからがん患者の数は増えていきますか？減っていきますか？
- どのようにしてがんと分かったのですか？
- 振り返ってみて、自分のどこがいけなかったと思いますか？
- 痛いのか、つらいのか
- 家族へは、どう伝えましたか
- 治療はつらいですか
- 早期発見だと絶対に治るのか
- がんは感染しますか？
- どのような症状が出るのか
- がんの痛みはどのような痛みなのか
- がんだと分かったとき、どう思いましたか
- 治るのにどのくらいかかりましたか

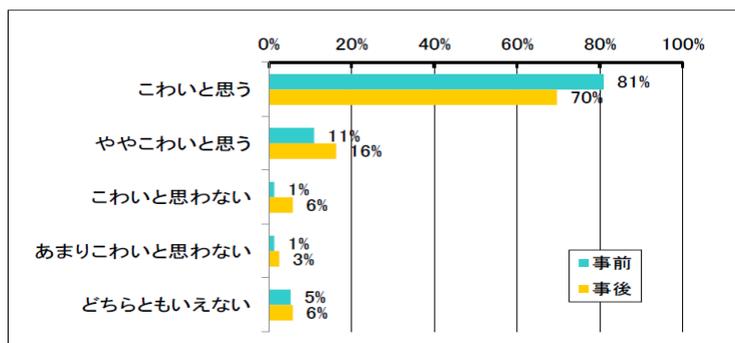
- ・放射線治療が終わったあと、体に異常が出たりしますか？
- ・抗がん剤治療の副作用は具体的にどんなものでしたか ・どんな治療をしてがんを治しましたか
- ・がんになった経験から学んだことは何ですか
- ・何を思って1日を過ごしていますか
- ・自分が死ぬかもしれないと命の危機を感じたことがありますか
- ・再発してしまったらという恐怖で生活していたことはありますか。
- ・がんになって新しい発見はありましたか。 ・食事制限はされますか。
- ・何を支えにして、つらい治療期間を耐えましたか。 ・身の回りで不自由だったことは何ですか
- ・治療費はいくらぐらいかかりましたか
- ・がんになって周りの人の反応はどうでしたか
- ・痛いとき、悲しいとき、つらいとき、どのように家族に伝えましたか
- ・がんになってよかったなと思うことは何ですか

■アンケート実施内容：

担任教諭より教室にて無記名・記述式にて実施。事前アンケートは冊子でがんの知識を学ぶ前に実施。事後アンケートは、授業実施から1週間後に実施。

■あなたはがんをこわいと思いますか

	事前	事後
こわいと思う	81%	70%
ややこわいと思う	1%	3%
こわいと思わない	81%	70%
あまりこわいと思わない	11%	16%
どちらともいえない	1%	6%
合計	100%	100%

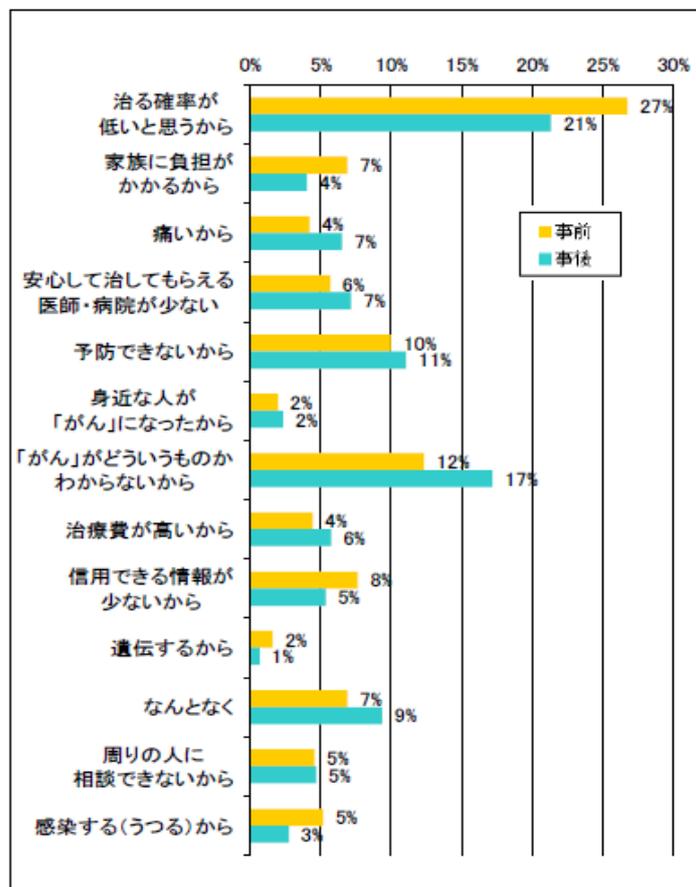


今回、モデル事業を担当した語り手は、比較的元気にしているがん患者が多かったためか、こわいと思う率は授業後、減る傾向にあった。ただ後半に亡くなった患者の話もするため、「やはりこわい」と思った生徒も少し増えた。怖さが減りすぎることも、将来安易に考え、検診や受診をしなくてもよいという考えにつながることもあるため、この結果は妥当だと考える。

■なぜ、こわいと思いますか。その理由に○をつけてください。（複数回答可）

「治る確率が低いと思うから」という理由は、授業前が27%だったものが、授業後は21%に減ったため、がんになったら必ず死んでしまうという考え方は少し考えに改善がみられる。語り手によっては、医療費について授業のなかで触れたこともあり、「治療費が高いから」という率が少し上がっている。

	事前	事後
治る確率が低いと思うから	27%	21%
家族に負担がかかるから	7%	4%
痛いから	4%	7%
安心して治してもらえる医師・病院が少ない	6%	7%
予防できないから	10%	11%
身近な人が「がん」になったから	2%	2%
「がん」がどういうものかわからないから	12%	17%
治療費が高いから	4%	6%
信用できる情報が少ないから	8%	5%
遺伝するから	2%	1%
なんとなく	7%	9%
周りの人に相談できないから	5%	5%
感染する(うつる)から	5%	3%
その他	2%	2%
合計	100%	100%



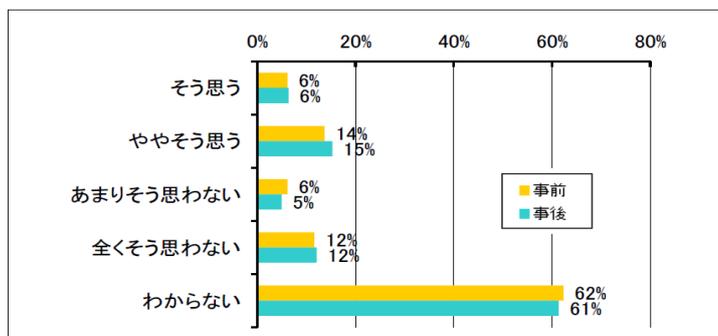
■あなたの身近でがんになった人を知っていますか？

	事前
知っている	42%
知らない	58%
合計	100%

授業前に聞いた質問だが、「身近にがん罹患した生徒がいる割合は、4割近くとなっており、子どもたちにとっても「がん」は身近な病気になってきていることが見られる。

■あなたは将来、自分がかんになると思いますか

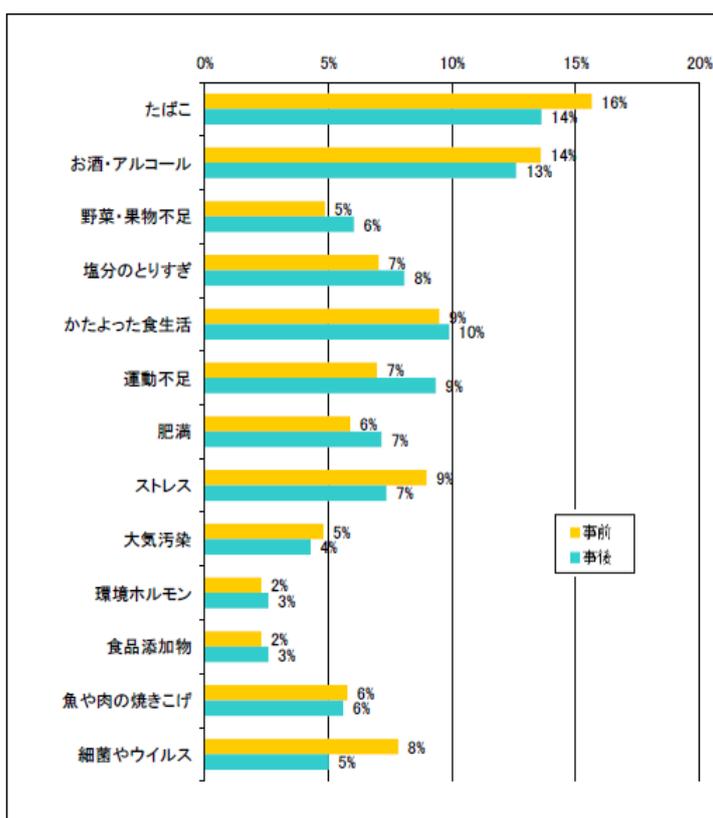
	事前	事後
そう思う	6%	6%
ややそう思う	14%	15%
あまりそう思わない	6%	5%
全くそう思わない	12%	12%
わからない	62%	61%
合計	100%	100%



子どもたち自身が「がん」になるかどうかを考えることを課題としていたが、実際にはあまり変化が見られなかった。今後、自分のこととして考える工夫が必要となってくる。

■がんの原因になると思うものをすべて選んでください（複数回答可）

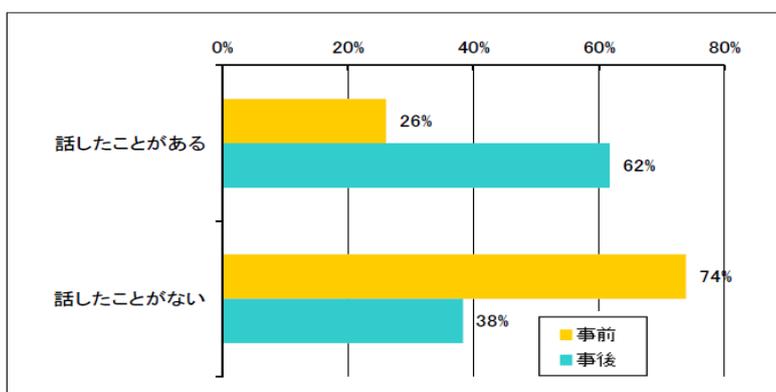
	事前	事後
たばこ	16%	14%
お酒・アルコール	14%	13%
野菜・果物不足	5%	6%
塩分のとりすぎ	7%	8%
かたよった食生活	9%	10%
運動不足	7%	9%
肥満	6%	7%
ストレス	9%	7%
大気汚染	5%	4%
環境ホルモン	2%	3%
食品添加物	2%	3%
魚や肉の焼きこげ	6%	6%
細菌やウイルス	8%	5%
遺伝	5%	6%
合計	100%	100%



子どもたちの意識のなかに「たばこ」と「お酒」が体に悪いというイメージはあり、授業前から意識は高くもっている印象である。また「がんのことをもっと知ろう」により、担任から「がんの知識、原因」などについて話をしてくれたこともあり、知識についてある程度習得できたこともあるようだ。

■家族でがんについて話したことがありますか？

	事前	事後
話したことがある	26%	62%
話したことがない	74%	38%
合計	100%	100%



授業の前は、家族で話したことがある割合は26%だったが、終わった後には62%まで上がる。授業のなかで「今日のお話を誰かに伝えてほしい」というお願いごとをすることもあり、子どもたちは家に帰ってから話をしてくれたようだ。話した内容については「がんになったらどうなるか」「生きていることに感謝すること」「たばことお酒のこと」「家族にがんでなくなった人がいるので、そのことについて」などになっている。

■生徒からの感想文抜粋

【小学校】

- いのちの授業を受けてみて、命は大切だなあと改めて思いました。生きてくても生きられない人がこの世界にいるということを感じながら、命を大切にしていきたいです。今、いじめを受けて自殺してしまったりする人もいます。だけど、まずは自分がいじめをしないようにして命を大切にしていきたいです。
- 身近な人ががんで命をなくしましたが、いのちの授業を聞いて少し悲しみがとれました。なぜ悲しみがとれたかというと同じ経験をした人がいるのだなあといい、これからは後ろを振り返らないで頑張りたいです。
- がんでも普通にごはんが食べられるのだと思いました。
- このいのちの授業で思ったことは、ぼくは何回も「死にたい」と思った。でもこの授業で「命は大切にしよう。」と思いました。このことも、上水流さんも忘れないようにしたいと思えます。
- 上水流さんからの「命のバトンタッチ」を後世につなげていきたいと思いました。
- 今日はおじさんとバトンタッチをしたので、周りにがんの人がいたら、助けてあげたいです。
- 今日のいのちの授業をきっかけに「消えろ」とか「死ね」などを言わないようにしたいです。患者さんの話を聞いてから、がんにもなったとしても絶望せずに明るく生きていきたいなと思えました。
- 患者さんの話を聞いて軽々しく「消えろ」などを相手に言ってしまったことを後悔しました。人間の命は一つしかないのに、そんな簡単に悪口を言っていたことは忘れて友達を助けてあげられるぐらいの男になりたいです。

【中学校】

- 僕もいろいろな人たちからバトンをたくさんもらっているので命は大切にしようと思えます。
- 僕達一人一人の目を見て話して下さることに感謝しています。だから、僕には夢があるので、もっと勉強に励み、体を大切に、家族を一人の人を大切に毎日噛み締めて生きていきます。
- 普通に生きていられて普通に話が出来るという当たり前のことがとても大きな事のように感じられました。
- 生きているということは、いつかは必ず死んでしまいます。なので、今生きているということはとても幸せなのだと思います。
- バトン、受け取りました。
- 生きているなかでたくさんのご事で悩み、泣いたことがあります。生きるのがつらいことだってありました。私は今日で人のためになる仕事に就きたいとより望むようになりました。
- がんというと死を想像していたけれど、治る人も多いと聞いてすごく安心しました。もし自分がなったら励ましてあげたいと思えました。本当にありがとうございました。
- お話を聞いて、私もいろいろ悩みやつらいことがあって苦しかったけど、私以上に苦しんでいる人がいることを知って、小さな出来事で悩むことはやめようと思えました。普通に暮らせて、遊べて、学校で学ぶことができて初めて「生きていてよかった」と思いました。
- 今、生きていることの幸せに気づきました。ふだんの言葉遣いなども気を付けて自分の命、家

族の命、周りの人の命を大切に生きていきたいです。

- がんについて考えることができました。一番驚いたのが日本人の2人に1人が癌になるということです。がんは髪の毛も抜けるし、苦しいなど何一ついいことはないと思っていただけで、今日の話聞いて学べることも多いんだなと思いました。
- 印象に残ったことは、がん患者さんのことをかわいそうと思うのではなく、頑張っているのだと思うことです。僕も今までそう思っていたので、そうとらえるのではなく、気持ちは伝えられなくてもいつも応援していこうと思いました。
- がんになったら死んでしまうと思って怖がっていましたが今日話を聞いて支えてくれる人と一緒に乗り越えていけばいいのだと気づき、がんになっても勇気をもってがんに立ち向かうことができるように感じられるようになりました。
- 私の祖父も病気で危ない状態です。だから私は祖父との時間を悔いなく過ごしたいと心から思っています。だからもう絶対に命を粗末にするようなことはしないとします。
- 生きたくて、生きたくて仕方がないひとでも亡くなる人もいますので、かみづるさんの命のバトンをもったつもりで生きていきたいです。
- がんの患者さんは普通に話しかけるだけで嬉しいというのを聞いて、もし、これから会ったら亡くなった祖父にできなかったことをしたいと思います。命のバトンタッチを続けていきたいです。
- 身近に亡くなった人がいるということを知って、今日の授業は少し特別な気持ちで受けました。命の大切さを今日改めて知って、自分がこれからどんな生き方をしていけばいいか考えようと思いました。
- 自分は人に支えられて生きてきた。だから、自分も人を支えるために生きているのではないかなと思う。
- がんの授業が終わったあとに1人の女の子が1人きりの子に話しかけていました。私は、友達と「なんて話しかける？」と言っているばかりで休み時間が終わってしまいました。授業のなかで「1人の子には話しかけてあげて」という言葉でその1人の子が笑顔になりました。これからのO組は、1人の子がいなくて嫌な言葉を言うひとが少なくなる学級になると思います。
- 授業を受けて治療を受けたあとは、元気に生活できる人もいることを知りました。

■授業参観をした保護者からの感想抜粋

- いのちの授業をしてくださってありがとうございました。日頃から「命を大切に！」と教育しているつもりですが、子どもの心に届いているのか、子どもたちは理解しているのか・・・と考えていました。私たちが教えるよりも実体験をした患者さんの言葉の方が子どもたちも真剣に聞き、命の大切さを考えているように見えました。
- 子どもたちが持っている「がん」に対する印象を聞いて少しびっくりしました。テレビドラマなどから受けた印象なのだと感じ、家でもう一度話をしました。がんにもいろいろあるし、早期発見すれば治る病気でもあること、祖父母ががんであったこと、もし私や主人ががんになったらどうするかなど、いろいろ話すことが出来ました。

第6学年 学級活動指導案

平成27年1月30日(金) 隈之城小学校 6年1組
14:15～15:00
担任名:下川先生

1 題材 「がん患者さんの体験を聞こう」

- 2 目標 (1) がん患者さんの体験を聞いて、がんの知識、がん患者さんへの理解を深めよう
(2) いのちの大切さについて考えてみよう
(3) 周りにいる人たちの大切さについて考えてみよう

3 学習の展開

時間	(分)	学習活動	主な活動内容と教師の支援	材料
14:15	5	1 担任から紹介	○簡単に名前だけ紹介してもらう	
14:20	5	2 自己紹介	○名前、今日話すこと	板書
		3 質問	○「今までに死んでしまいたいと思ったことがありますか？」	必ず自分以外は伏せてもらう
		4 がんのイメージ	○がん患者さんのイメージを聞く ・たばこを吸う ・お酒を飲む ・髪の毛がない ・いつも吐いている ・お年寄り 「三好さんのイメージとどうですか？」	前回のアンケート パネル(イメージ)
14:25	15	5 がんの種類	○がんの種類を聞く 「〇〇さんは何のがんでしょうか？」	板書
		6 がん患者さんの体験を聞く	○質問に答えて体験を話す ・治療のこと 「こんな治療をしました」 ・がんの告知を受けたときの気持ち 「悲しかった、怖かった」 ・支えてくれたこと 「家族、友達、患者会の仲間」	
14:40	10	7 旅立った患者さんについてのお話を聞こう	○「かみづるさんのいのちの授業」 スライドを見てもらう	PPT映す
14:50	3	8 これからのこと	○2つのお約束 ・今日聞いたお話を誰かに伝えましょう ・「死ね」という言葉を使わない	
14:53	2	9 振り返り	○感想を言ってもらおう	
14:55	5	10 担任から	○先生から一言	
15:00			終わり	

『いのちの授業』のアンケート【事前】

このアンケートは『がん』や『がん患者さん』に対する率直な意見を聞くものです。
あなたの気持ちに最も近い番号に○をつけてください。

小 年 組 1 男 2 女

Q 1、あなたは『がん』をこわいと思いますか。【○印は1つ】

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. こわいと思う | 4. あまりこわいと思わない |
| 2. ややこわいと思う | 5. こわいと思わない |
| 3. どちらともいえない | |

Q 2. なぜ、こわいと思いますか。その理由として、あてはまる番号にすべて○印をつけてください。
【○印はいくつでも】

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 治る確率が低いと思うから | 8. 信用できる情報が少ないから |
| 2. 予防できないから | 9. 安心して治してもうらえる医師・病院が少ないから |
| 3. 遺伝するから | 10. 感染する（うつる）から |
| 4. 治療費が高いから | 11. 身近な人が「がん」になったから |
| 5. 痛いから | 12. なんとなく |
| 6. 周りの人に相談できないから | 13. 「がん」がどういうものかわからないから |
| 7. 家族に負担がかかるから | 14. その他（具体的に： _____) |

Q 3. あなたの身近でがんになった人を知っていますか【○印は1つ】

1. 知っている
2. 知らない

Q 4. あなたは将来、自分ががんになると思いますか。【○印は1つ】

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. そう思う | 4. 全くそう思わない |
| 2. ややそう思う | 5. わからない |
| 3. あまりそう思わない | |

Q 5. がんの原因になると思うものをすべて選んでください。【○印はいくつでも】

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. たばこ | 8. 運動不足 |
| 2. お酒・アルコール | 9. 肥満 |
| 3. 野菜・果物不足 | 10. ストレス |
| 4. 塩分のとりすぎ | 11. 大気汚染 |
| 5. かたよった食生活 | 12. 環境ホルモン |
| 6. 食品添加物 | 13. 細菌やウイルス |
| 7. 魚や肉の焼けこげ | 14. 遺伝 |

Q 6. その中で、がんの原因として最も影響が強いと思うものを1つ選んで番号を書いて下さい。
(Q 5で選んだ番号の中から) 番

Q 7. がんは治ると思いますか。【○印は1つ】

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. どんながんでも治る | 4. 治らない |
| 2. 早く見つければ治る | 5. 治るかどうかわからない |
| 3. 適切な治療をすれば治る | |

Q 8. あなたはがんについてどのようなイメージを持っていますか。具体的に書いて下さい。

Q 9. あなたはがん患者さんはどんな人だと思えますか？具体的に書いて下さい。

Q10. 家族で「がん」について話したことがありますか？

1. 話したことがある
2. 話したことがない

どんな話をしたことがあるか。具体的に書いてください。

ありがとうございました。

『いのちの授業』のアンケート【事後】

このアンケートは『がん』や『がん患者さん』に対する率直な意見を聞くものです。
あなたの気持ちに最も近い番号に○をつけてください。

小 年 組 1 男 2 女

Q 1、あなたは『がん』をこわいと思いますか。【○印は1つ】

- | | |
|--------------|----------------|
| 1. こわいと思う | 4. あまりこわいと思わない |
| 2. ややこわいと思う | 5. こわいと思わない |
| 3. どちらともいえない | |

Q 2. なぜ、こわいと思いますか。その理由として、あてはまる番号にすべて○印をつけてください。
【○印はいくつでも】

- | | |
|------------------|----------------------------|
| 1. 治る確率が低いと思うから | 8. 信用できる情報が少ないから |
| 2. 予防できないから | 9. 安心して治してもうらえる医師・病院が少ないから |
| 3. 遺伝するから | 10. 感染する（うつる）から |
| 4. 治療費が高いから | 11. 身近な人が「がん」になったから |
| 5. 痛いから | 12. なんとなく |
| 6. 周りの人に相談できないから | 13. 「がん」がどういうものかわからないから |
| 7. 家族に負担がかかるから | 14. その他（具体的に： _____) |

Q 3. あなたの身近でがんになった人を知っていますか【○印は1つ】

1. 知っている
2. 知らない

Q 4. あなたは将来、自分ががんになると思いますか。【○印は1つ】

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. そう思う | 4. 全くそう思わない |
| 2. ややそう思う | 5. わからない |
| 3. あまりそう思わない | |

Q 5. がんの原因になると思うものをすべて選んでください。【○印はいくつでも】

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. たばこ | 8. 運動不足 |
| 2. お酒・アルコール | 9. 肥満 |
| 3. 野菜・果物不足 | 10. ストレス |
| 4. 塩分のとりすぎ | 11. 大気汚染 |
| 5. かたよった食生活 | 12. 環境ホルモン |
| 6. 食品添加物 | 13. 細菌やウイルス |
| 7. 魚や肉の焼けこげ | 14. 遺伝 |

Q 6. その中で、がんの原因として最も影響が強いと思うものを1つ選んで番号を書いて下さい。
(Q 5で選んだ番号の中から) 番

Q 7. がんは治ると思いますか。【○印は1つ】

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. どんながんでも治る | 4. 治らない |
| 2. 早く見つければ治る | 5. 治るかどうかわからない |
| 3. 適切な治療をすれば治る | |

Q 8. あなたはがんについてどのようなイメージを持っていますか。具体的に書いて下さい。

Q 9. あなたはがん患者さんはどんな人だと思えますか？具体的に書いて下さい。

Q10. 「いのちの授業」の後、家族で「がん」について話しましたか？

1. 話した
2. 話さなかった

どんな話をしたことがあるか。具体的に書いてください。

ありがとうございました。